

南部っ子



谷地南部小 学校便り
R 4. 7. 30
NO 4
校長 小山田 聡

今年度のキーワード 「一步踏み出す力」「チーム力」「考え抜く力」

盛夏の候、日頃より南部小の教育活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。コロナ禍において、また第7波が猛威を振るってきています。皆様の健康をお祈り申し上げる次第です。

さて、学校は1学期が無事終了し、子どもたちは夏休みに入りました。「令和の日本型学校教育」に向けて、本校の学校教育目標を柱に、すべての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」について、個人総合や自分たちで進める学び等、昨年度も皆様にも目に見える形で進めてまいりました。夏休みにおいても、教師から与えられたものをただやるのではなく、自分の興味・関心あるものから課題を見つけ自分でとことん追究していくことが未来・将来に必ず役立っていくと考えます。知識以外でも運動や趣味の技能を高めていくことも「個別最適な学び」になります。地域学校協働活動も含め、地域の皆様からご協力いただくこともあると思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

「一步踏み出す力（主体性）」

「考え抜く力（解決・創造）」



学校保健委員会



7月14日、学校保健委員会が開催されました。協議では、「子どもたちが（メディアも含め）時間を自己管理できるようにするために」と題して、グループに分かれてのワークショップが行われました。PTAからも各学年の保体部員の皆様にも参加いただきました。子どもたちの心身の健康に向けて、一步踏み出し、考え抜くいい機会となりました。主な内容は以下の通りです。

- 学校でできること⇒立腰・南部っ子チャレンジ・授業を通して自己決定できるように・自立心を培う
- 家庭でできること⇒家庭での約束・ルール・理由を考えて納得して取り組ませる・他に興味がもてそうなものを・メディアから離れコミュニケーションの場を作る・親が面倒がらずに向き合う
- 地域でできること⇒子ども会や地域行事・地域の関わりで自己管理につなげる

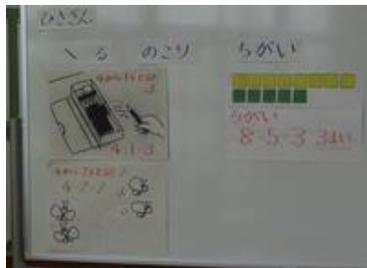
「考え抜く」課題解決の術～生活に、社会に生きる

1年生は4-2の問題づくり。【のこりはいくつ？ちがいはいくつ？】の場面を頭に思い浮かべて。

2年生は数の大きさをくらべ。【398人と412人ではどちらが多い（大きい）でしょう？】

「どうしてそう思う？ どうやって比べたの？」「みんなにわかるように 説明の相談してね」

低学年でも、これまでの学びと比べて関連付けて、頭に思い浮かべて友達とも相談して、さらに相手が納得する理由も考えます。深く考え、考え抜くことが、生活場面での問題解決にも生きてきます。



「チーム力（協働・対話）」



児童会主催「七夕集会」

児童会の計画委員が中心となり「七夕集会」が全校で実施されました。各階のフロアに縦割り班ごとに分かれて、全体進行はオンラインで発信しました。その後、6年生を中心にそれぞれの班で短冊に書いた願いごとを発表し、飾り付けを行いました。異学年交流の中で協力して短冊を完成させました。計画委員会からは、七夕の本をオンラインで紹介する場面もあり、とても充実したいい時間を過ごすことができました。



水泳学習発表会

7月18日、水泳学習発表会が行われました。コロナ禍で一昨年度は水泳授業ができず、昨年度も厳しい制限の中で回数が減ったことで、子どもたちの泳力には不安もあったかと思えます。今年度は、感染対策を講じながら、すべての学年で「学習指導要領」に則った目標の達成に向けて精一杯取り組むことができました。



地域学校協働活動～地域のご支援



学校運営協議会長の山田さん、ボランティアの菅原さんご指導の下、3年生が紅花摘みをしました。水洗いをした後、連休明けに紅餅づくり。種植えから紅染めまでの工程を体験しながら、紅花学習は進んでいきます。

6年生の総合の学習では、ボランティアの菊地さん、青山さんのご協力を得ながら、河北町の歴史調べの一つ「市神様探索」を行いました。



おめでとうございます！

ご紹介：県小学校陸上大会 男子ジャベリックボール投げ 第6位 高橋 ■さん
県女子相撲選手権大会 小学校四年以下の部 第1位 多田 ■さん

学校の様子については、随時ホームページでもご覧いただけます。 <https://yachinanbu-kahoku.edumap.jp/>